

# 地域包括支援センター引野

冬号から春号までの活動報告

## ◎地域ケア会議の開催について…

皆さんは『地域ケア会議』という言葉を知っていますか？  
『地域包括ケアシステム』の説明とともに耳にする機会があったかもしれません。  
私たちが住民さんや多職種の皆さんに参加の呼びかけをさせて頂いた時、「言葉は聞いたことがあっても一体何を目的とした会議なのか分からない」と言われることが多くあります。  
と、言う事で今回は2016年度に包括引野で開催した会議について報告させていただきます。



### 《手法》 A: 地域ケア会議(個別)の場合

包括引野では、地域ケア会議担当職員を中心にケース提供を依頼できる居宅介護支援事業所を選定し、協力可能か否か問い合わせを行います。次にケア会議内容に合わせて参加者を決定し担当者が案内を行い、出欠の確認をいたします。

準備として、当日の流れやポイントをふまえて事前打ち合わせを事業所内で開催します。

個別ケア会議は1ケース1時間と設定し、包括引野相談室にて実施しています。

※小さな相談室ですので、15名を超えると椅子の準備が難しい現状があります。

今年度開催させて頂いた会議(9回)の平均出席人数は11名で、ご家族の協力や様々な方面の職種の方にご参加いただいております。

介護保険や地域支援事業利用時のサービス担当者会議と異なる点は、課題の解決にむけて関係者のみが集まるということではなく、普段関わりは少ないが今後関わりが望まれる職種の皆さんや専門職の皆さんから、さまざまな意見を聞く事が出来ると言う事です。

「本人、家族ができること」「地域でできること」「公的サービスができること」について考え、いつまでも住み慣れた地域で暮らし続けるために必要な資源について、意見を交える会議です。

### B: 地域ケア会議(圏域)の場合

残念ながら2月末の時点では未開催となっております。しかし、3月17日(金)開催にむけて只今準備中です。30名の参加を予定しておりますので、今回の会場は『手城ふれあいプラザ』です。

初めての試みですので、事前準備に力をいれております。結果は後日報告いたします。



\* ホームページも見て下さいね  
『[houkatuhikino.rgr.jp](http://houkatuhikino.rgr.jp)』  
『包括引野』で検索して下さい。



## 2017年春号

編集・発行  
福山市地域包括支援センター引野  
2017(平成29)年3月発行

## 「地域福祉」について考えてみませんか？ シリーズ⑫

「誰もが、住みなれた地域で生き生きと自立した生活を送る事ができる・・・」

そんな地域を作る為には、助け合いの心を育てる福祉教育やNPO活動、まちづくり、住民活動やボランティア活動等々の地域における多様なサービスや、活動が組み合わさり、連携することが欠かせません。

今回は大津野学区(城興ヶ丘)で月1回開催されている「サロン城興ヶ丘」を紹介します。

城興ヶ丘は日本鋼管福山工場の開業後に出来た住宅団地です。造成された当時は若い方やご家族の多い地域でしたが、現在は233世帯ある半数以上の住民が65歳以上となりました。

若い時には仕事や家事、子育てに追われ、なかなか交流機会を持てていなかった世代ながら、地域の高齢化を迎え「支え合い」の必要性を痛感されたとの事です。

会場になっている「城興ヶ丘北浜会館」は2階建ての広々とした施設。せっかくある立派な「箱」の活用策と併せて住民同士の繋がりや居場所作りを検討された結果、津之下中福祉会や町内会からの支援を受け平成28年12月にサロンがスタートしました。第一回は東部保健福祉課の浅利保健師を講師に迎え健康づくりに関する講座を。翌月の1月は餅つき、2月は卓球・・・と毎回、色々な行事を企画され参加者も常時20名以上の盛況振りです。

将棋、オセロ、ジェンガ、折り紙なども気軽に楽しめ、行く行くは同好会作りにつけていきたいとの事。

「老若男女どなたでも参加OK! いつ来ても、いつ帰ってもいいですよ。」

みなさんもお気軽に参加してみてくださいは如何ですか? (^▽^)

### 【サロン城興ヶ丘】

(日 時) 毎月1回(第3月曜日) 10:00~12:00

(場 所) 城興ヶ丘北浜会館

(会 費) 原則無料(\*行事内容によって必要な時があります)



城興ヶ丘北浜会館に是非お越し下さいませ。

手芸の他、オセロや将棋  
ジェンガなども楽しめます♪



和気あいあいとしていて男性も参加し易いムードです。